

中国の2021年における死亡労働災害について

中華人民共和国（以下単に「中国」といいます。）の国家統計局は、2022年2月28日午前9時30分（現地時間）に、同国の2021年における国家経済及び社会発展に関する統計的な公式発表（予備的な統計として）を行いました。その中の「XII. Resources, Environment and Emergency Management（訳者注：XII 資源、環境及び緊急事態管理）」に、2021年における死亡労働災害に関する一定の統計資料があります。そこで、本稿では、これに関連する英語原文を日本語に仮訳したものを対訳の形式で掲げてあります。それによりますと、

「労働災害による死亡者数は2万6,307人に達しています。工業、鉱業及び商業の労働災害は、被雇用者10万人当たりで1.374人が死亡し、2020年と比較して5.6%減少しました。炭鉱で生産された石炭100万トン当たりの死亡者数は0.045人で、23.7%減少しました。車両1万台当たりの道路交通死亡者数は1.57人で、5.4%減少しました。

その詳細については、次に掲げるこの資料の「英語原文—日本語仮訳」並びにこの資料作成者が作成した中国の死亡労働災害発生率と日本、アメリカ、連合王国（英国。以下単に「英国」といいます。）、ドイツ及びフランスの死亡労働災害発生率との比較を試算した「◎参考資料」を参照して下さい。

これによりますと、関連するデータがそろそろ2019年における労働者10万人当たりの死亡労働災害者数は、日本は1.69、アメリカは3.5（そのうち、給与が支払われている労働者については2.9）、英国を除くEU加盟27か国平均では1.74、ドイツは0.79人、スペインは1.78、フランスは3.53人、イタリアは2.1、オランダは0.48人、ポーランドは1.1人、英国は2018年のデータですが0.78人となっています。中国の2021年の被雇用者10万人当たりの死亡労働災害の発生率は、上記の発表によれば1.374（再掲）（2019年では1.474人、2020年では1.301人）となっています。

なお、本稿の表4に示しましたように、関係するデータがそろそろ2019年における名目GDP10億米ドル当たりの労働災害死亡者数を試算しますと、中国は2.13人、日本は0.18人、アメリカは0.25人、英国は0.027人、ドイツは0.10人、スペインは0.25人、フランスは0.30人、イタリアは0.25人、オランダは0.041人、ポーランドは0.31人となっており、中国のデータは他の諸国よりもかなり高くなっています。

2022年3月

中央労働災害防止協会技術支援部

国際課

(本資料の作成者注：以下において、イタリック体の部分は、本資料作成者が文意を補足するために加えたものです。)

[I 原典の所在] : http://www.stats.gov.cn/english/PressRelease/202202/t20220227_1827963.html

[II 原典の名称] : Statistical Communiqué of the People's Republic of China on the 2021 National Economic and Social Development
National Bureau of Statistics 2022-02-28 09:30

[III 著作権 (copyright) について]

中国国家统计局では、同局が発表した統計資料の利用に関しては、同局のホームページにおいて、2007-01-04 13:57 付で Copyright (著作権) に関して次のとおりコメントしており (資料作成者注：現在でも変更されていません。)、一定のもの (同局が特に指定したもの等) を除いて、そのリプリント及び引用については、このネットワークで公表されている内容 (統計) が善意で使用され、その資料の出所が明示され、その当初の意図が捻じ曲げられず、変更されないならば、歓迎されるとしています。

Copyright

National Bureau of Statistics of China 2007-01-04 13:57

1. The copyright of all contents of this network belongs to the web site of the National Bureau of Statistics of the People's Republic of China unless as other indicated.
2. Contents of this network are welcome to be reprinted or quoted, but the following contents are excluded:
 - A. Other links of this network;
 - B. Contents that have been declared not to be reprinted or not to be reprinted without permission;
 - C. Contents without signature of current network or works of others quoted or reprinted by our network;
 - D. Particular figures, signs, page styles, page layouts and programs of this network;
 - E. Contents of this network that can be known only with special authorization or with the qualification as a registered subscriber;
 - F. Other contents that are forbidden by law or regarded to be not proper for being reprinted by our network.

3. The contents of this network can but be used as free information through reprint or quotation reasonably and in good will, such as news or data, and the original intention is not allowed to be distorted or modified.
4. The contents of this network are not allowed to be used for following activities through reprint or quotation:
 - A. Damaging the interests of this network and other people;
 - B. Any offence against the law;
 - C. Any behavior that may damage public orders and customs;
 - D. Making bold to agree others to reprint or quote contents of this network;
5. For the reprint or quotation of any content of this network, "Quoted from the web site of the National Bureau of Statistics of the People's Republic of China" or "China Statistical Information Network" must be clearly indicated, and the website, namely www.stats.gov.cn, should be made clear.
6. Please pay the author royalty as required for reprint or quotation of any signed article in this network.
7. For improper reprint or quotation of contest of this network, which results in civil disputes, administrative affairs or other losses, our network shall assume no responsibility.
8. Our network is entitled to tracking out the legal obligations of those who fail to observe this declaration and those who violate the law and use the contents of this network for malicious objectives.

[IV 原資料の英語原文—日本語仮訳]

英語原文	日本語仮訳
XII. Resources, Environment and Emergency Management 2021	XII 資源、環境及び緊急事態管理 2021
The death toll due to work accidents amounted to 26,307 people. Work accidents in industrial, mining and commercial companies caused 1.374 deaths out of every 100 thousand employees, up by 5.6 percent over that of 2020. The death toll for one million tons of coal produced in coalmines was 0.045 people, down by 23.7 percent. The road traffic death toll per 10	労働災害による死亡者数は2万6,307人に達しています。工業、鉱業及び商業企業の労働災害は、被雇用者10万人当たりで1.374人が死亡し、2020年と比較して5.6%減少しました。炭鉱で生産された石炭100万トン当たりの死亡者数は0.045人で、23.7%減少しました。車両1万台当たりの道路交通死亡者数は1.57人で、5.4%減少しました。

thousand vehicles was 1.57 people, down by 5.4 percent.	
Notes : (資料作成者注 : 抜粋)	原典の注 : (資料作成者注 : 抜粋)
<i>1. All figures in this Communiqué are preliminary statistics. Statistics in this Communiqué do not include Hong Kong SAR, Macao SAR and Taiwan Province. Due to the rounding-off reasons, the subentries may not add up to the aggregate totals.</i>	[1] この公式発表におけるすべての数字は、予備的な統計です。この公式発表では、香港特別行政区、マカオ特別行政区及び台湾省は、含んでいません。数字の丸め方の理由で、小項目の数字を合計しても総計にならないことがあります。

◎参考資料

[致命的な労働災害（つまり死亡災害）の発生率についての日本、アメリカ合衆国、EU加盟国合計（EU加盟27か国（離脱した英国を除く。）及びEU加盟28か国（英国を含む。））並びにEU加盟国のうちドイツ、スペイン、フランス、イタリア、オランダ、ポーランド及び英国との国別比較並びにこれらのデータと中国の2019年の被雇用者10万人当たりの労働災害死亡者数（発生率）との比較]

(資料作成者解説)

次の表1に「中国」が2022年2月28日に公表した統計データを含む関連する統計資料、表2に「EUROSTAT(欧州連合統計事務局)が、2022年1月20日付けで公表したEU加盟27か国（離脱した英国を除く。）及びEU加盟28か国（2020年1月30日までは英国を含む。英国のEU離脱は2020年1月31日）並びにドイツ、フランス、オランダ、ポーランド及び連合王国（英国）の死亡労働災害発生件数及び発生率（労働者10万人当たりの死亡労働災害者数）」、表3に「致命的な労働災害（つまり死亡傷害）の発生率についての日本及びアメリカ合衆国の関連するデータ」及び表4に「内閣府主要経済指標の国際比較」、IMF（国際通貨基金）等による関係各国の2019年の名目GDPの単位10億米ドル当たりの死亡労働災害者数の比較（この場合、関連するデータがそろそろ2019年についての名目10億米ドル当たりの死亡労働災害発生数を試算してあります。）」を、それぞれ、示してあります。

表1 中国の関連するデータ

国別	統計の対象年（歴 年）	労働災害統計の指標の種類及び関係するデータ	資料出所
中国	2021年	<p>(再掲)</p> <p>労働災害による死亡者数は2万6,307人に達しています。工業、鉱業及び商業企業の労働災害は、被雇用者10万人当たりで1,374人が死亡し、2020年と比較して5.6%減少しました。炭鉱で生産された石炭100万トン当たりの死亡者数は0.045人で、23.7%減少しました。車両1万台当たりの道路交通死亡者数は1.57人で、5.4%減少しました。</p> <p>(資料作成者注：Statistical Communiqué of the People's Republic of China on the 2021 National</p>	各年の Statistical Communiqué of the People's Republic of China on the

	<p><i>Economic and Social Development</i> 中の「I. General Outlook」における中国の2020年のGDPに関する記述は、次のとおりです。）</p> <p>I. General Outlook</p> <p>According to preliminary estimation, the gross domestic product (GDP) [2] in 2021 was 114,367.0 billion yuan, up by 8.1 percent over the previous year with the average two-year growth [3] of 5.1 percent.</p> <p>Notes:</p> <p>1. All figures in this Communiqué are preliminary statistics. Statistics in this Communiqué do not include Hong Kong SAR, Macao SAR and Taiwan Province. Due to the rounding-off reasons, the subentries may not add up to the aggregate totals.</p> <p>2. Gross domestic product (GDP), value added of the three and related industries, regional GDP, per capita GDP and gross national income (GNI) as quoted in this Communiqué are calculated at current prices whereas their growth rates are at constant prices.</p> <p>3. The average two-year growth is the geometric mean of the growth with the data of the same period in 2019 as the base.</p> <p>(上記の原典の本文並びに脚注1、2及び3の日本語仮訳は、次のとおりです。)</p> <p>I. 概要</p> <p>速報値では、2021年の国内総生産（GDP）[2]は114兆3670億元で、前年比8.1%増、2年平均成長率[3]は5.1%増となった。</p>	<p>National Economic and Social Development</p>
--	---	---

		<p>(資料作成者注：(国際通貨基金の 2020 年現在の換算値では、1 ドル=約 6.83 元であるので、この中国の GDP の値は米ドル換算では約 16 兆 7,448 億米ドルに相当する。)</p> <p>○脚注</p> <p>1. 本コミュニケの数値はすべて速報値です。本コミュニケの統計には、香港特別行政区、マカオ特別行政区及び台湾省は含まれていません。四捨五入の関係で、小項目の合計が集計に合わないことがあります。</p> <p>2. 本コミュニケで引用されている国内総生産 (GDP)、三大関連産業の付加価値、地域別 GDP、一人当たり GDP、国民総所得 (GNI) は、現在の価格で計算されていますが、その成長率は定価で計算されています。</p> <p>3. 年平均成長率は、2019 年同時期のデータを基準とした成長率の幾何平均値です。</p> <p>○したがって、GDP10 億米ドル当たりの死亡労働災害者数は、 206,307÷16744.8 (単位：10 億米ドル) ÷12.32 人に相当する。</p>	
2020 年		<p>労働災害による死亡者数は 2 万 7,412 人に達しています。工業、鉱業及び商業企業の労働災害は、被雇用者 10 万人当たりで 1.301 人が死亡し、2019 年と比較して 11.7%減少しました。炭鉱で生産された石炭 100 万トン当たりの死亡者数は 0.059 人で、28.9%減少しました。車両 1 万台当たりの道路交通死亡者数は 1.66 人で、7.8%減少しました。</p> <p>(資料作成者注：Statistical Communiqué of the People's Republic of China on the 2021 National Economic and Social Development 中の「I. General Outlook」における中国の 2020 年の GDP に関する記述。</p> <p>I. General Outlook</p> <p>According to preliminary estimation, the gross domestic product (GDP) [3] in 2020 was 101,598.6 billion yuan, up by 2.3 percent over the previous year.</p> <p>(上記の日本語仮訳：I 一般概況</p>	

	<p>予備的な計算では、2020年のGDPは、1,015,986億元90,086.5億元（1ドル=約7.03元（2020年7月末、中国国家外国為替管理局）で、約144,521億米ドル（≒14,452.1billion米ドル）で、前年に比較して2.3%増加しました。</p> <p>○したがって、GDP10億米ドル当たりの死亡労働災害者数は、 2万7,412人÷14,452.1billion=約1.90人に相当する。</p>	
2019年	<p>(2019年の) 中国の労働災害による死亡者の合計は29,519人に達しました。工業（原典ではIndustrial）、鉱業（原典ではmining）及び商業部門（原典ではcommercial）の企業における労働災害は、被雇用者100,000人当たりの死亡労働災害の発生率1.474をもたらしており、2018年と比較して4.7%減少しました。また、石炭鉱業における石炭生産100万トン当たりの死亡者数は、0.083人で、10.8%減少しました。車両10,000台当たりの道路交通死亡者は、1.80人で、6.7%減少しました。</p> <p>（資料作成者注：Statistical Communiqué of the People's Republic of China on the 2019 National Economic and Social Development中の「I. General Outlook」における中国の2019年のGDPに関する記述。</p> <p>I. General Outlook</p> <p>According to preliminary estimation, the gross domestic product (GDP)[2] in 2019 was 99,086.5 billion yuan, up by 6.1 percent over the previous year.</p> <p>（上記の日本語仮訳：I 一般概況</p> <p>予備的な計算では、2019年のGDPは、990,865億元（米ドル換算（1ドル=約7.16元（2019年8月末、中国国家外国為替管理局）として）で、約138,389億米ドル（13,838.9billion米ドル）で、前年と比べて6.1%増であった。）</p> <p>○したがって、GDP10億米ドル当たりの死亡労働災害者数は、 29,519人÷13,838.9billion=2.13人に相当する。</p>	
2018年	<p>(2018年の) 中国の労働災害による死亡者の合計は34,046人に達した。工業（原典ではIndustrial）、鉱業（原典ではmining）及び商業部門（原典ではcommercial）の企業における労働災害は、被雇用者100,000</p>	

	<p>人当たりの死亡労働災害の発生率 1.547 をもたらしており、2017 年と比較して 5.6%%減少した。石炭鉱業における石炭生産 100 万トン当たりの死亡者数は、0.093 0.106 人で、12.3%減少した。車両 10,000 台当たりの道路交通死亡者は、1.93 人で、6.3%減少した。</p> <p>(資料作成者注：Statistical Communiqué of the People's Republic of China on the 2018 National Economic and Social Development 中の「I. General Outlook」における中国の 2018 年の GDP に関する記述。</p> <p>According to preliminary estimation, the gross domestic product (GDP)[2]in 2018 was 90,030.9 billion yuan, up by 6.6 percent over the previous year.</p> <p>(上記の日本語仮訳：予備的な計算では、2018 年の GDP は、90,030.9 億元 (米ドル換算 (1 ドル=約 6.9 元 (2018 年 10 月末, 中国国家外国為替管理局) として) で、130,478.0 億米ドル (=13,047.8billion 米ドル) で、前年と比べて 6.6%増であった。)</p> <p>○したがって、GDP10 億米ドル当たりの死亡労働災害者数は、$34,046 \text{ 人} \div 13,047.8 \text{ billion} = 2.61 \text{ 人}$に相当する。</p>
--	---

○表2 EUROST(欧州連合統計事務局)が、2022年1月20日に公表したEU加盟27か国(離脱した英国を除く。)及びEU加盟28か国(英国を含む。)並びにドイツ、スペイン、フランス、イタリア、オランダ、ポーランド及び連合王国(英国)の死亡労働災害発生件数及び発生率(労働者10万人当たりの死亡労働災害者数)

Fatal Accidents at work by NACE Rev. 2 activity (欧州標準産業分類第2版の全産業合計としての職場における死亡労働災害者数、2015~2029年)

Last update: 20.01.22 (最終更新日:2022年1月20日)

Source of data: Eurostat(資料出所:ユーロスタット)

UNIT: Number(単位:数)

NACE_R2:Total - all NACE activities(欧州標準産業分類第2版の全産業合計)

TIME(暦年)	2015	2016	2017	2018	2019
GEO(地域又は国別)					
European Union - 27 countries (from 2020) (EU加盟27か国(資料作成者注:2020年から英国の離脱後は27か国))	3,643	3,336	3,272	3,332	3,408
European Union - 28 countries (2013-2020) (EU加盟28か国(2015~2020年、英国を含む。))	3,903	3,588	3,552	3,581	:
Germany (until 1990 former territory of the FRG) (ドイツ:1990年までは旧西ドイツ)	477	450	430	397	416
Spain (スペイン)	344	296	317	323	347(b)

France (フランス)	595	595	585(b)	615	803	
Italy (イタリア)	543	481	484	523	491	
Netherlands (オランダ)	35	36	43	45	37	
Poland (ポーランド)	304	243	270	211	184	
United Kingdom (英国:連合王国)	260	252	280	249	:	
GEO	TIME	2015	2016	2017	2018	2019

Available flags:		
b break in time series	c confidential	d definition differs, see metadata
e estimated	f forecast	n not significant
p provisional	r revised	s Eurostat estimate
u low reliability	z not applicable	

Special value:
: not available

UNIT: Incidence rate(単位:労働者 10 万人当たりの死亡労働災害者数:発生率)

NACE_R2: Total - all NACE activities(欧州標準産業分類第 2 版の全産業合計)

TIME(暦年) GEO(地域又は国別)	2015	2016	2017	2018	2019
European Union - 27 countries (from 2020) (EU 加盟 27 か国 (資料作成者注:2020 年から英国の離脱後は 27 か国))	2.01	1.84	1.79	1.77	1.74
European Union - 28 countries (2013-2020) (EU 加盟 28 か国(2015~2020 年、英国を含む。))	1.83	1.69	1.65	1.63	:
Germany (until 1990 former territory of the FRG) (ドイツ:1990 年までは旧西ドイツ)	1.02	0.96	0.89	0.78	0.79
Spain (スペイン)	2.3	1.92	1.99	1.96	1.78(b)
France (フランス)	2.57	2.74	2.64(b)	2.74	3.53
Italy (イタリア)	2.42	2.11	2.1	2.25	2.1
Netherlands (オランダ)	0.5	0.5	0.59	0.6	0.48

Poland (ポーランド)	1.89	1.54	2	1.56	1.1	
United Kingdom (英国: 連合王国)	0.83	0.8	0.88	0.78	:	
GEO	TIME	2015	2016	2017	2018	2019

Available flags:		
b break in time series	c confidential	d definition differs, see metadata
e estimated	f forecast	n not significant
p provisional	r revised	s Eurostat estimate
u low reliability	z not applicable	

○表 3 参考 致命的な労働災害（つまり死亡傷害）の発生率についての日本及びアメリカ合衆国の関連するデータ及びこれらの比較に

ついて

(資料作成者注：次の表にあるとおり、日本及びアメリカ合衆国の労働者 10 万人当たりの死亡傷害死亡者数（発生率）を比較すると、日本の 2020 年は 1.49 であるが、現在入手できる最新のものである 2018 年のアメリカ合衆国のそれは 3.5（そのうち、給与が支払われている労働者については 2.9）と推定できるので、労働者 10 万人当たりの死亡傷害死亡者数（発生率）は日本の方が低い。

国別	統計の対象年 (年度)	労働災害統計の指標の種類及び関係するデータ		左欄の指標に関する留意事項	資料出所
日本	2013 年 ～ 2020 年	年	労働者 10 万人当たりの死亡傷害発生数 (試算の方法は、別記を参照されたい。)	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働安全衛生法に基づく報告義務のない公務従事者は、除外されている。 ● 道路交通災害を含む。 	死亡災害報告、総務省労働力調査に基づき試算（別記参照）
		2013	2.07		
		2014	2.11		
		2015	1.92		
		2016	1.80		
		2017	1.87		
		2018	1.69		
		2019	1.56		
		2020	1.49		
アメリカ合衆国	2012 年 ～ 2018 年	年	フルタイム等価労働者換算 (equivalent full-time workers：以下同じ。) 10 万人当たり。下欄で別に明示しない限り公務従事者等を含む全労働者に	<ul style="list-style-type: none"> ● 左欄の①では公務従事者（アメリカ合衆国内の軍関係者を含む。）が含まれている。 	News release, Bureau of labor Statistics, U.S. DEPARTMENT OF

		についての発生率である。	<ul style="list-style-type: none"> いずれも道路交通災害を含む。 	<i>LABOR NATIONAL CENSUS OF FATAL OCCUPATIONAL INJURIES IN 2018</i>
2012	3.4	そのうち、民間産業については、3.6		
2013	3.3	そのうち、民間産業については、3.5		
2014	3.4	そのうち、民間産業については、3.7		
2015	3.4	そのうち、民間産業については、3.6		
2016	3.6	そのうち、民間産業については、3.8		
2017	3.5	そのうち、民間産業については、3.7		
2018	3.5	そのうち、給与が支払われている労働者については2.9（資料作成者注：the classification systems and definitions of many data elements have changed: 2019年12月に公表された2018年データから分類システム及び多くのデータ要素が変更されている。）		

（日本についての資料作成者の注）

（別記－資料作成者注：日本の労働者10万人当たりの労働災害死亡率（2013～2019）の試算結果（2020年7月）

労働者死傷病報告、総務省労働力調査に基づく厚生労働省公表資料

年	死亡者数 (A) (厚生 労働省労働 基準局)	該当する年の雇用者数合 計 (万人。資料出所：総 務省統計局) (B) 毎年 4 月のデータ	役員を除く雇用者数 (単 位：万人：b)	Bのうち、公務及び国防・ 義務的社会保障事業 (国 際分類の O に該当する) 従事者数 (単位人) (C) (各年の平均)	D=b - C (単位万人) (公務及び国防・義務的 社会保障事業従事者 (C) については、役員はいな いものと想定した。)	労働者10万人当たりの死 亡傷害発生数(E) = ((A)÷ (D) ×10)
2015	972	5,653	5,303	231	5,072	1.92
2016	928	5,741	5,391	231	5,160	1.80
2017	978	5,810	5,460	229	5,231	1.87
2018	909	5,927	5,596	232	5,364	1.69
2019	845	5,995	5,660	241	5,419	1.56
2020	802	5,963	5,620	247	5,373	1.49

(日本についての資料出所)

- 「死亡者数 (A) (厚生労働省労働基準局)」：職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.htm> から抜粋した。
- 「該当する年の雇用者数合計 (万人。資料出所：総務省統計局) (B)」及び「左欄のうち、役員を除く雇用者数 (b)」：
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html> における「長期時系列表 10 (1) 年齢階級 (10 歳階級) 別就業者数及び年齢階級 (10 歳階級), 雇用形態別雇用者数 - 全国」<http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/zuhyou/lt52.xls> から抜粋した。
- 「雇用者のうち、公務及び国防・義務的社会保障事業 (国際分類の O に該当する) 従事者数 (単位万人) (C) (各年の平均)」：
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html> における「長期時系列表 5 (4) 産業 (第 12・13 回改定分類) 別雇用者数 - 全国」
<http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/zuhyou/lt05-06.xls> から抜粋した。

表4 内閣府主要経済指標の国際比較、外務省資料等による主要国 GDP、2018年、2019年及び2020年（単位10億米ドルに換算）した場合における2018年の関係各国の名目GDP10億米ドル当たりの死亡労働災害者数の比較（この場合、関連するデータがそろそろ2019年についての名目10億米ドル当たりの死亡労働災害発生数を試算してあります。）

国別	2019年の死亡労働災害者数 (A)	2019年GDP：単位：10億米ドルとして表示(B)	2019年の名目10億米ドル当たりの死亡労働災害発生数= (A) ÷ (B) (原則として少数第3位以下は四捨五入してあります。)
中国	29,519	990,865億元(米ドル換算(1ドル=約7.16元(2019年8月末, 中国国家外国為替管理局)として)で、約138,389億米ドル(1383.89billion米ドル) ÷ 13838.9	29,519人 ÷ 13838.9 ÷ 2.13人に相当する。
日本	909	5,080	909 ÷ 5,080 ÷ 0.18人に相当する。
アメリカ	5,250	21,373	5,250 ÷ 21,373 ÷ 0.25人に相当する。
英国	77(被雇用者のみを計上した。)	2,831	77 ÷ 2,831 ÷ 0.027人に相当する。
ドイツ	395	3,862	395 ÷ 3,862 ÷ 0.10人に相当する。
スペイン	347	1,394	347 ÷ 1,394 ÷ 0.25人に相当する。

フランス	803	2,716	$803 \div 2,716 \approx 0.30$ 人に相当する。
イタリア	491	2,001	$491 \div 2,001 \approx 0.25$ に相当する。
オランダ	37	910	$37 \div 910 \approx 0.041$ 人に相当する。
ポーランド	184	595.8	$184 \div 595.8 \approx 0.31$ 人に相当する。

(資料作成者注1：関係各国のGDPについては、オランダ及びポーランドのものはIMF統計、その他は「内閣府の主要経済指標の国際比較」による。)

(資料作成者注2：2019年の死亡労働災害者数については、中国、日本、アメリカ及び英国については、それぞれの政府が公表しているデータ並びにドイツ、スペイン、フランス、オランダ及びポーランドについてはEUROSTATによる。)